

【著者紹介】

河田 潤 一（かわた じゅんいち）

〔略 歴〕

1948年 神戸市に生まれる。

1976年 神戸大学大学院法学研究科博士課程単位取得満期退学。

甲南大学法学部教授、大阪大学法学部・同大学院法学研究科教授を経て、
現 在 神戸学院大学法学部教授。大阪大学名誉教授。

〔主 著〕

『政治学基本講義』法律文化社、2015年

『汚職・腐敗・クライエンテリズムの政治学』（編著）ミネルヴァ書房、2008年

『失われた民主主義』（訳書／Th. スコッチポル著）慶應義塾大学出版会、2007年

Comparing Political Corruption and Clientelism (ed.), Ashgate, 2006

『ヨーロッパの統合とアメリカの戦略』（訳書／G. ルンデスタッド著）NTT 出版、2005年

『ハンドブック政治心理学』（共編著）北樹出版、2003年

『哲学する民主主義』（訳書／R.D. バットナム著）NTT 出版、2001年

『ブラック・エンパワーメントの政治』（訳書／J. ジェニングズ著）ミネルヴァ書房、1998年

『政党派閥』（共編著）ミネルヴァ書房、1996年

『アメリカ黒人の文化と政治』（訳書／Ch.P. ヘンリー著）明石書店、1993年

『現代政治学入門』（編著）ミネルヴァ書房、1992年

『比較政治と政治文化』ミネルヴァ書房、1989年